

平成 26 年 12 月 14 日執行  
衆議院小選挙区選出議員選挙

# 選挙公報

滋賀県第 4 区  
滋賀県選挙管理委員会

## 安倍政権の暴走!

- ① 実質賃金と実質可処分所得が減少**  
実質賃金は0.3%のマイナスで、15か月連続で下がる。実質可処分所得も0.7%のマイナス。
- ② 物価上昇は「悪いインフレ」に**  
急激な円安による電気代、ガソリン代や食料品の急騰が原因の物価上昇であり、経済が好転してのインフレではない。
- ③ 集団的自衛権の行使を容認**  
40年以上も維持され、国際的にも広く認知されている憲法解釈を一内閣の閣議決定だけで変更。国会審議は発議わずか1日ずつ。
- ④ 正社員と非正規社員との格差が拡大**  
政府が提案した労働者派遣法改正案が実行されると、派遣労働者が低待遇のまま働き続ける「生遣派遣」を生み出す危険性が大。
- ⑤ 米価下落に農家は悲鳴**  
全国的に米価が下落したにもかかわらず、「戸別所得補償制度」の交付金が半額となった。
- ⑥ 35人以下学級を見直し**  
民主党政権時に導入された35人以下学級について、費用対効果の観点から成果がみられないとして廃止を検討。
- ⑦ 介護保険「要支援」切り**  
介護保険の予防給付(要支援1・2)の訪問介護と通所介護が、国の介護保険給付から切り離されて地方自治体に丸投げされることが決定。
- ⑧ 身を切る改革はやらない**  
2年前、当時の野田首相は、安倍自民党政権と国会議員定数削減を約束して衆院を解散したが、政権を獲得した安倍自民党政権は定数削減を実行しようとしなかった。

## 今こそ、暴走を止め、流れを変える時。



### 1 国民生活に十分留意した柔軟な金融政策

- アベノミクスによる国民生活の悪化を踏まえ、消費税引き上げは延期します。
- 極端で硬直した「異次元」緩和よりも、経済、財政状況、市場環境を踏まえ、「国民生活に十分留意した柔軟な金融政策」を日本銀行に求めます。
- 補助金交付を通じたガソリン・軽油などの価格高騰対策を講じるなど、円安によるコスト増大に苦しむ生活者、中小企業、農林水産業者を支援します。

### 2 グリーン、ライフ、農林水産業、中小企業。未来につながる成長戦略

- 滋賀の強みと力を活かした、グリーン、ライフ、農林水産業、中小企業に政策資源を集中します。
- エネルギーの地産地消を進め地域活性化・雇用創出を実現します。
- 農業者戸別所得補償制度、6次産業化により農業所得の向上を図り新規就農者を増やします。

### 3 2030年代に原発ゼロの社会をめざす

- 東日本大震災の教訓——原発事故による被害者・被災者・避難者をこれ以上つくりません。
- 2030年代に原発稼働ゼロが可能となるよう、あらゆる政策資源を投入します。

### 4 生活の不安を希望に変える人への投資

- 子育て支援、雇用の安定、老後の安心など、「生活の不安を希望に変える人への投資」により、可処分所得を増やし、消費を活性化します。
- 社会保障制度の安定化・充実により将来不安を軽減します。
- 非正規雇用の待遇改善、正規雇用の増大を図ります。
- 35人以下学級の推進、所得制限のない高校授業料無償化制度、給付型奨学金制度を創設します。

### 5 国家の自立を守り、アジアに繁栄の秩序をつくる

- 外務大臣政務官としての経験と海外とのパイプを活かします。
- 日本の主権を守り、海洋国家日本の礎である離島を含む領土・領海の防衛に総力をあげて取り組みます。
- 憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認には反対します。

### 6 琵琶湖を再生する

- 琵琶湖の生態系を含めた水質汚濁メカニズムの解明など、国が全面的に支援する新たな仕組みの構築を定めた「琵琶湖総合保全法」の成立をめざします。

私たちが応援しています!

元大臣  
**武村 正義**  
前滋賀県知事  
**嘉田 由紀子**

地元は 近江八幡 1963年生まれ

元衆議院議員  
**奥村 展三**  
連合滋賀会長  
**山田 清**

- 近江八幡市立金田小学校
- 早稲田大学政治経済学部
- 近江兄弟社中学校
- 滋賀県議会議員(2期)
- 県立彦根高等学校
- 参議院議員(1期)

民主党公認 連合滋賀推薦  
チームしがとともにも...



# とくなが 久志

# 日本を守る覚悟と決意!

## むとう貴也プロフィール

昭和54年5月25日、北海道釧路市生まれ。血液型O型。東京外国語大学卒業、京都大学大学院修了(専門は外交・安全保障・国際法)。平成21年「全国公募」で自民党滋賀県第四選挙区支部長に選ばれ、平成24年第46回衆議院議員総選挙で初当選。外務委員会、安全保障委員会所属。自民党外交部会副会長、国防部会副会長、組織運動本部団体総局安全保障関係団体委員会副委員長、青年局長。麻生派(為公会)。近江八幡市在住。

## 【むとう貴也事務所】

〒523-0021 近江八幡市長福寺町325-4  
TEL. 0748-38-0610  
FAX. 0748-38-0612  
メール office@mutou-takaya.com  
ホームページ http://mutou-takaya.com/  
Twitter, Ameba, facebook も参加しています。

## 「私の志」

戦後の日本は、アメリカに安全保障を委ね、経済復興を優先しました。しかしながら、そうした政策を敷いた吉田茂元首相は、いずれ経済成長をしたら、憲法を改正し、自主防衛が必要だと考えていました。なぜなら、自分の国を自分で守れない国は「国家主権」を失ってしまうからです。

しかし、高度経済成長を経た今もなお、日本はそのことを忘れてままだと思います。憲法はそのまま、自主防衛の議論も全くといって良いほど、国会で行われることはありません。

その結果、今の日本は様々なところでむしばまれていきます。それは拉致問題や

領土問題のように表立って見えるものだけでなく、政治・経済・文化・慣習にまで広がっています。日本は「自立」できていないために、どの分野においても米国や中国などといった他国に遠慮し、干渉を受けざるを得ない状況にいます。

だから、私はもう一度「原点」に立ち戻って考えたいと思います。戦前まで「日本が歩んできた道」と「これから日本が歩まなければならない道」を。「日本の国家主権、そして誇りと尊厳を取り戻す」、それが「私の志」であり、政治理念・哲学です。

どうぞ皆様のご賛同と、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 5つの基本政策

- ① 消費税増税よりデフレ脱却と経済成長を優先する(経済・財政)**  
デフレ下で増税すれば、消費が落ち込み、GDPは低下します。従って、まずはデフレから脱却し、景気回復・経済成長を実現してから、財政再建に努めるべきと考えます。アベノミクスでデフレを脱却しつつありますが、まだ道半ばです。今回3%の消費税の増税をしてGDPが落ち込んだのも、未だデフレから完全に脱却できていないからです。
- ② 自主憲法制定と自主防衛体制の確立を目指す(外交・防衛)**  
中国の台頭、北朝鮮の核武装、ロシアの再興、アメリカの低迷など、国際情勢が大きく変化し「多極化」する中、日米同盟があれは日本の安全が確保できるという時代は終わろうとしています。原点に戻って、自主憲法の制定と自主防衛体制の確立を目指します。
- ③ 成長する経済を支えるエネルギー政策を推進する(資源・エネルギー)**  
原発事故の後、世論は「脱原発」に動きました。しかし、太陽光発電や風力・水力発電などは代替エネルギーにはなりません。石油や天然ガスなどの化石燃料は他国依存になり国の自立を担保できません。そのような議論が行われている中、トリウムという原子核を利用した発電が注目を集めています。「トリウム原発」は安全性が非常に高く、資源も世界中に豊富に存在しており、更に放射性物質を殆ど生みません。
- ④ 失われつつある地域コミュニティの維持をはかる(地方創生)**  
個人主義化する価値観の中で、家族主義的な価値観が失われるという土壌に加え、制度的に市町村合併が行われ地域コミュニティも崩壊しつつあります。更に現在JAや郵便局等、地域コミュニティを構築してきた機関の合併という話も出されています。こういう中において、家族主義の再興や地域コミュニティの維持と活性化を推進する政策を目指します。
- ⑤ 安定して日本を支える第一次産業を構築する(農林漁業)**  
第一次産業では、経営難や後継者不足などにより衰退が激しい状況があります。これまで自民党では、農業、林業、漁業それぞれが直面する課題について小委員会を設け細かく議論してきました。とりわけ今年には米について不作、TPP交渉、JA改革など大きな課題があり議論が行われてきました。細かな政策課題はここで全て書くことは出来ませんが、結果として第一次産業全てが夢を持ってよう知恵を絞り、実現に向け尽力します。



# むとう 貴也 (35歳)

自民党公認

# 投票日は 12月14日(日)です。

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、  
12月3日(水) から 12月13日(土) までです。  
(公示日の翌日) (選挙期日の前日)

- (投票方法) ○小選挙区選出議員選挙では候補者名を  
○比例代表選出議員選挙では政党名

それぞれの投票用紙に書いて投票してください。

平成26年12月14日執行  
衆議院小選挙区選出議員選挙

# 選挙公報

滋賀県第4区  
滋賀県選挙管理委員会



いわなが  
**岩永ひろき**



[iwanagahiroki.net](http://iwanagahiroki.net)  
facebook

「政治家なんて誰がなっても同じ」この二年間、多くの方から聞かせていただいた声です。「これではあかん」と国会の議席をお預かりして以来、「誰よりも地域を歩こう、声を聞かせていこう、その声を伝えよう」との思いで、多くのお声を伺ってまいりました。中小企業の経営環境、医療、介護、障がい者福祉、保育、教育、農業、林業、漁業、インフラ、交通の要望...国会ではそれら多くの声をバックに議論を重ねてまいりましたが、霞が関の認識が滋賀の現状とずれていることが頻りにあり「やはり、結論は地方への分権しかない」と身に染みて感じました。

政府は地方創生をスローガンに全国へのばら撒きプログラムをスタートしますが、根本的な部分が間違っています。東近江地域にしても甲賀地域にしても、それぞれの産業が、農産物が、伝統があるのに東京で一律の基準が設けられ、予算の配分が決められてしまっている現状。人口減少時代、地域では選択と集中の大変厳しい決断を迫られる場面が次々にやってきます。権限と財源の地方分権をしっかりと果たし「市町村が責任をもって判断をする」体制にしなければ本場の地方創生はないのです。

## 岩永ひろきプロフィール

生年月日 昭和48年9月3日 二女の父  
出身地 甲賀市信楽町(甲賀市甲南町在住)

- 前衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会 理事
- 前衆議院国土交通委員会 委員
- 維新の党国会議員団 副幹事長
- 維新の党滋賀県支部 代表
- 元国務大臣秘書官
- 公益社団法人 水口青年会議所第44代理事長
- 甲賀市商工会 青年部



いわなが  
**岩永ひろき**  
維新の党

この二年間で八万五千軒の声を伺い、それを糧に一五〇〇回の街頭演説、三十二回の国会質問に立ちました！

政治の制度疲労を一扫  
真の成長の矢を放つ！

今年度、国の借金なんと二一四兆円！  
背負われるのは子供たち。  
これから生まれてくる孫たち。

こんな状態でも自民、民主は消費増税を行って景気を冷やしておきながら、国会議員、国公務員の給与を平然とアップし平気な顔をしています。借金だらけの家庭が、電気もつけっぱなし、水も流しっぱなしにしているのと同じこと。財政健全化への姿勢がなっていない。選挙では七〇〇億円もの税金が使われ、無責任に選挙目当てのばらまき政策を連発。一方で医療、子育て、福祉の充実が先送りでは何のための八%の増税だったのでしょうか。

維新の党はすでに国会議員の定数三割削減、歳費三割、ボーナス五割を削減する法案を提出しています。無駄を削減し、大切な税金を本場に必要にすることが。うわべだけのバラ色のスローガンは言えませんが、次代を担う子供たちのことを本気で想い、輝きのある日本の実現に全力を尽くす覚悟です。何卒、皆様のお力をお与えください。

## 国民の声で動く政治へ



日本共産党  
**西沢こういち**

若い力で  
政治を変える  
36歳

私は、日本の学費が世界で一番高いことを知り、何とかしたいと日本共産党に入党し、若い人の願いを実現するために活動してきました。戦争する国づくり、消費税増税、原発再稼働、沖縄新基地建設など国民の願いとは逆行する安倍暴走政治をストップ、国民の声を生かす政治を実現するチャンスです。どんな問題でも国民本位の確かな対策をもち、国民と共同する日本共産党を伸ばしてください。あなたの大切な一票を日本共産党と西沢こういちへ託して下さい。

安倍暴走政治ストップ  
消費税10%  
「先送り」でなく  
中止を  
キツパリ

「増税不況を招いた、自民・公明・民主にきびしい審判を下してください。日本共産党は、富裕層や大企業へ応分の税負担、大企業の内部留保の一部を活用し、国民の所得を増やして税収を増やすことなど、消費税に頼らない対策をもちています。」

### 西沢こういち転換プラン

- 55 格差と貧困をストップ  
社会保障を充実して、くらし第一の経済を
- 雇用 長時間労働・低賃金をなくし  
人間らしく働ける雇用のルールをつくる
- 原発 再稼働ストップ  
「原発ゼロの日本」へ
- 平和 「戦争する国」づくりを許さず  
憲法9条生かした平和外交を
- 政治とカネ 企業献金を禁止し、  
政党助成金は廃止する

西沢こういちプロフィール  
1978年生まれ。近江兄弟社高校、花園大学卒業。民主青年同盟滋賀県委員長として青年の安定雇用を求めると、非正規雇用や長時間・低賃金労働で働く青年の暮らしと権利を守るために活動。東近江市東沖野町在住。

<https://facebook.com/koichi.nishizawa.758>

# 投票日は12月14日(日)です。

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、  
12月3日(水) から 12月13日(土) までです。  
(公示日の翌日) (選挙期日の前日)

(投票方法) ○小選挙区選出議員選挙では候補者名を  
○比例代表選出議員選挙では政党名  
それぞれの投票用紙に書いて投票してください。